

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続きますが、湿度も高く、体が暑さに慣れていないこともあり 体調を崩しやすいです。水分補給や体調管理を心がけて、元気に過ごしましょう。

夏の感染症について

夏にはいろいろな感染症が流行ります。体調が悪くて、病院を受診する場合には

必ず ①感染症かどうか

②登園の可否

③プール・水遊びの可否 を確認してください。
確認できていない時は、お休み等をお願いすることもあります。

とびひ (伝染性膿痂疹)

あせもや虫刺されなどを掻きこわした傷に菌が感染しておこります。掻きこわし後の水疱をつぶすと、菌の入った液で周りにどんどん広がっていくので、見つけたらすぐに受診してください。

プール熱 (アデノウイルス感染症/咽頭結膜熱)

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。登園停止の病気です。

手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水疱がで、熱が出ることもあります。



夏に流行るおもな感染症

流行性角結膜炎

ウイルスによる感染症で、目が充血し、目やにがたくさん出ます。他の人にうつってしまうことが多いです。登園停止の病気です。

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛みがあります。(乳児はミルクが飲めないほど)

「あれ？感染症かな…」と思ったら必ず受診をしてください

感染症と診断された場合には、下記のような対応をお願いします。

(1)病名・登園の可否と時期を確認してください。

(2)必ず、園に病名を連絡し、必要な書類を確認してください。

◎登園停止の病気の場合は、受診時に「学校感染症にかかわる証明書」を医師に記入してもらい、登園日の朝、証明書を提出してからの受け入れとなります。

◎登園停止ではない感染症は、医師の許可が出たら、「感染症登園届」を保護者が記入し、登園時に届けを提出してからの受け入れとなります。

◎登園時に書類の提出と、受け入れ職員にお子さんの様子を伝えてください。

★感染症の書類は職員室にあります。また、園のホームページやれんらくアプリからも用紙をダウンロードできます。

★登園の目安など、詳しくは入園のしおりの“保健”のページにてご確認ください。

★玄関横ホワイトボードやアプリで「感染症罹患状況」をお知らせしています。

電話やバスキャッチで欠席の連絡をする時は、

必ず「欠席理由」をお知らせください。

子どもの持ち物、点検してください

園で使用しているコップ、毎日洗っていますか？茶渋など汚れがついているコップを見かけることがあります。子どもが口にするものです。持ち帰ったら、きれいに洗って翌日持たせてください。コップ袋も定期的に洗いましょう。幼児は、水筒についても持ち帰ったら、よく洗って(特に飲み口)清潔にしましょう。

乳児さんは注意！

食事用エプロンやよだれかけ、トレーニングパンツなどに、洗っても落ちない黒い点々がついていませんか？それは、汚れではなく“カビ”かもしれません。使用している物を確認して、清潔なものに交換していきましょう。